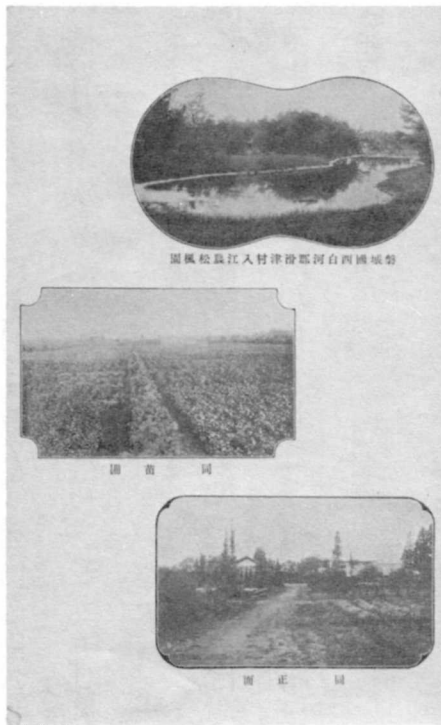




入江新六郎の碑(中島中学校前)



入江農場の風けい(明治44年ごろ)

桑樹標本園などの見本園をつくりあげました。

使用人、二十五家族にも、土地を分け与え、くわ、杉、くり、かしわ、梅、柿など十種類の種苗を育成させました。このようにして、いろいろな木の苗を育てる仕事は、日本の国内だけでなく、外国にまでも広がり、個人農場としては、まさに、「日本一」といわれるようになりました。